
『男殺しの下劣女』

零那

暁～小説投稿サイト～ By 肥前のポチ

<http://www.akatsuki-novels.com/>

注意事項

このPDFファイルは「暁く小説投稿サイトく」で掲載中の小説を「暁く小説投稿サイトく」のシステムが自動的にPDF化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「暁く小説投稿サイトく」を運営する肥前のポチに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『男殺しの下劣女』

【作者名】

零那

【あらすじ】

大人の男を騙す。

性を餌に

男の未来を奪う。

そんな狡猾で醜い

女達は何を思うのか。

騙される奴が悪い。
買う大人が悪い。

本当にそう？

騙す少女も下劣。

充分悪意に満ちてる。

『ウリ』

ウリをしてる少女達は、自分の賞味期限や旬を知っている。
売れる時期に売って何が悪い。
少なくとも私はそう思っていた。

私が初めて援助交際をした時は金銭を受け取っていなかった。
私に指示してる人が受け取っていたから。
それに、援助交際だったのが卑怯な美人局になった時期があった。
逆らうことが出来なかったから、仕方無いと言ってしまえば仕方無い。
開き直るわけではないけれど、当時はどうしようも無かった。

養父に玩具にされ続けてる此のケガレた躰で、誰かが一瞬でも助かるなら、一瞬でも役に立てるなら・・・

私自身も、買う男の人達に救われていた時間が在るのも事実。

ウリというのは悪いことであることは勿論承知済み。
それでも、ウリに対する概念として、お互いにルールは在ると思っ
ていた。

利害の一致で成立する関係性だと。

此の時期より後、私は自分の意志でウリをした時期がある。

既に痛い目にも遭っていた。

それでも、現実を知ってウリをやった。

今度は自分で金銭を受け取っていた。

買ってくれる大人の男の人達に、躰と時間を提供する代わりに、金
銭を恵んで貰っていた。

『制裁』

昔お世話になった人が逮捕された。

わいせつ行為。

公務員。

もう、その人の未来は絶望的かも知れない・・・

同じ職には絶対戻れない。

報道された内容と、真実は必ず食い違いが有る。

一方的に加害者だと報道されるその人。

一方的に被害者だと報道される少女。

狡猾で腹黒で醜い少女の罠にハマられ墮とされてしまった・・・。

その人が、どんな過程で其処に行ったか詳細は解らない。

けれど、流れで少女が金銭を要求し、見返りに撮影する。

そんな流れ。

勿論、合意の上。

此の時点で違法行為。

犯罪であることは確か。

誘惑に負けてしまったその人も残念だったが・・・

少女は合意で金銭を受け取ったにも関わらず、後日、撮影された事を訴えた。

ウリをするならするで筋を通すべきだと思うのは当然。

こんな薄汚いやり方は正直許せない。

少女も同じ犯罪者。

なのに何故、大人の男の男のだけが裁かれなければならない！！

痴漢の冤罪にしても同じ事。

触られても無いのに被害者面を決め込んで高笑いしてる女達。

男達、其の家族周りなどの人生を狂わせ、未来を奪っというて、馬鹿だと指さして笑ってるクソ女共。

性根が腐敗してる下劣女に罰を下したいと心から思う。

『矛盾』

正当か不当かは関係無い。

筋を通すべき事、其れはどんな状況だろうと必ず在る。礼儀だろう。

合意の上なら尚更。

金銭を貰うなら、それなりの奉仕は当然の事。

其れを、後になって訴えるのは筋違い。

裏切り。

考えれない。

そんな事しようと思う事自体が衝撃で許せなかった。

底意地の悪い、性根の腐った手口に怒りが湧いた。

どんなに罵ろうと、どんなに庇おうと、第三者には、何も出来ない。

ただ、何故、大人の男側だけが制裁を受けるのか、其れが本当に悔しくてならない！！

社会的信用は失う。

まともな職にも就けない。

前科者として一生つきまとう後悔の渦。

少女はひたすら被害者面で、腹の底から嘲笑ってるんだろう。

特に恨みを抱いてる相手に対する復讐とか、そんなものは無い。

楽しいだけ。

お遊びの一環。

こんな汚い奴は本当に憎たらしい。

『腐敗』

その人とは一切連絡がつかない。
周りの人も知らない。

何処で何をしてるのか。
生きてるのか死んでるのかさえ……。

たとえ、命が有って何処かで密かに暮らしてたとしても、社会的に殺されたも同じ。

そして其れを嘲笑う下劣女。

こんなんで良いのか世の中。

こんな女こそ、野放しにしとくのは問題だと思わないのか。

其れとも、か弱く被害者面して涙の一筋でも流しながら『無理矢理命令されて……』なんて嘘を付いても見抜けない奴ばかりなのか。

腐った世の中だ。

今に始まったことではないが。

物心ついた頃から強く感じていた事だけど、
改めて強く思ったのは確かだ。

腐敗した大人も増え続ける。

子供達も腐敗し続ける。

そのうち此の世の中は、息も出来ないくらいの腐敗臭で覆われるんじゃないのか。

世の中そこら中に腐敗した粗大ゴミだらけ。

恐ろしい世界だけど、どうにもならない。

何処かの星から救世主は飛んでこないかと思う程．．．（笑）

此の世の中自体が末期癌。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel_id~15016

『男殺しの下劣女』
2015年11月25日 22時14分発行